



発行者
南河学園

発行責任者
園長 伊山喜二

TEL (072) 975-2200

FAX (072) 975-2224

http://www.nankagakuen.jp

Eメール: info@nankagakuen.jp

広報委員会

バック
ナンバー
QRコード



トピックス

- 1面：野球大会
絵画コンクール
- 2面：GW行事
職員感謝の集い
花まつり
- 3面：町会の行事
- 4面・5面：慰問行事
- 6・7面：
夏の学園行事特集
- 8面：スポーツ特集
軟式野球・フットサル
ソフトボール
- 9面：絵画入選作品
- 10面：寄贈・慰問
編集後記
- 1・10面にも
絵画掲載

夏の大会連覇

8月1日、2日に貝塚青少年運動広場にて開催された大阪府野球大会において、南河学園が大会連覇を成し遂げました。前回優勝は令和2年の大会で途中コロナ禍で中止されていましたが、3年ぶりの開催でもそのチームワークは維持され全員野球で優勝旗を手に入れました。

大阪府野球大会

会場に到着し、他の施設に負けない大きな声で挨拶をして、いざ開会式です。本園のキャプテンが選手宣誓を行いました。1日目は1回戦阪南福祉会、2回戦泉ヶ丘学院どちらにも勝利し、帰りのバスは大盛り上がり。園長も「明日は優勝するぞ」と児童に声を掛け帰りのバスの運転をしてくれました。

大会2日目は、準決勝からのスタートでした。泉ヶ丘学院と対戦し先制点を取られ、途中まで負けていましたが、中学生の活躍で逆転勝利する事が出来ました。児童は疲れが溜まっていたましたが、あと1勝すれば、念願の優勝という事もあり士気は高く声も出ていました。



みんなで優勝したぞー！！

感性が光る

6月から絵画作品の募集が開始されました。児童達は風景や外出の思い出や漫画の登場人物など、さまざまな絵画を描きました。また、審査は今年も国分中学校の先生にご協力いただきました。

絵画コンクール表彰

7月8日に、絵画コンクールの表彰式を行いました。金賞・銀賞・銅賞と学園職員激励賞で計18名の児童が受賞しました。受賞した児童は笑顔を見せたり、恥ずかしそうにしたりと様々な表情を見せてくれました。

また、受賞しなかった児童も受賞者に対し、盛大な拍手を送り、「おめでとう」「すごい上手」と労いの言葉で会場を温かく包み込みました。園長の締めめの言葉で児童はより一層気が引き締められ、絵画コンクールに対する熱意や向上心が高まったように思いました。では順に紹介させていただきます。

幼児の部



銀賞

「メリーゴーランドに乗ってたのしいね」



激励賞

「わたしとともだち」



金賞

「火を吹くティラノサウルスと恐竜の卵たち」

GW・母の日・父の日 特集

お腹いっぱい
笑顔もいっぱい

くら寿司会食

3日と4日に分かれて皆でくら寿司へ行きました。児童は出発前からそわそわしていました。何を食えるのか尋ねると「エビとたまごといくら食べる」と迷いなく答え、店内に着くとお目当てのお寿司を注文していました。どの児童もマグロ、イカ、サーモン等色々な種類のお寿司やサイドメニュー、デザートを食べる事が出来て、大満足。「お腹いっぱい」と、満点の笑顔を見せてくれました。



休まずに頑張ったよ

皆勤賞、精勤賞

こどもの日の演芸会の前に、去年1年間の学校への登校について皆勤精勤だった児童への表彰式が行われました。今年は皆勤賞22名、精勤賞18名の児童へ園長から賞状と副賞が贈られ、褒めてもらいました。5月に入り5類に分類された新型コロナウイルスですが、児童達は登下校の手洗いやうがい等の感染症対策を取り、健康に留意しながら過ごした1年でした。

皆でわいわい

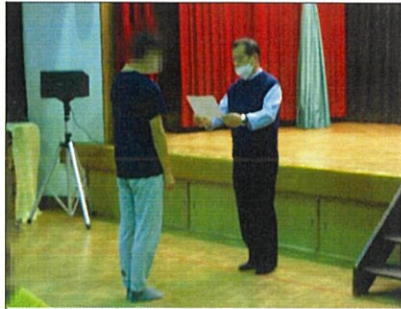
演芸会

こどもの日恒例の演芸会を行いました。児童達でグループを作り、ダンスや劇、モノマネ等を披露しました。



歌って、踊って♪

幼児のグループは元気一杯に可愛いパプリカダンスを、小学生のグループは最近流行りの可愛くてごめんのダンスを、中学生のグループはWinKの淋しい熱帯魚やピンク・レディーのUFO等、一世を風靡した昭和歌謡のダンスを披露しました。新任職員は先輩職員



一年間頑張ったご褒美

と漫才をしました。

トリを飾った中高生のグループがかっこいいダンスを披露すると、場内は大盛り上がり。アンコールが起こり、2度もダンスを披露してくれました。披露を終えた児童は「楽しかった」「動きが大きくなった」と、司会を担当した高校生は「初めてやって緊張した」と話してくれました。最近の流行りから昭和に流行ったダンスまで誰もが楽しい笑顔の会となりました。



いっぱい練習した

お釈迦様の誕生日

花まつり

5月14日、花まつりを行いました。園長より、お釈迦様の誕生にまつわる話を聞きました。児童達にとっては少し難しい話ではありましたが、皆真剣に聞いていました。食後には甘茶飴をもらい、児童は「あんまり食べたことないけど、甘くておいしい」と喜んでいました。



女性・男性職員に感謝する集い

5月14日に女性職員に感謝する集いが、6月17日に男性職員に感謝する集いを行いました。各班代表の児童が、担当の職員に日頃のお礼の言葉を照れ笑いしながらも伝えました。今回はメッセージカードとお花と、女性職員にはクリアポーチ、男性職員にはエコバックをプレゼントしてくれました。



メッセージカードには「いつもありがとう」「これからもよろしく」「いつもゲームしてくれてありがとう」「高校行くから応援してや」「また話聞いてね」「お仕事頑張って下さい」と書かれています。児童からの言葉を受け取った職員は、これからも頑張ろうと思いました。プレゼントも大切にしたいと思っています。



先生いつもありがとう

児童会主催で記念品を添えて感謝の気持ちが職員に伝えられました。児童代表の手紙を掲載させていただきます。

職員の先生方へ（抜粋）

今日は普段は言えない感謝の気持ちを、児童を代表して言わせていただきます。園長先生、いつも私たちの事を気にかけて、見守って下さりありがとうございます。私たちの事をたくさん考えてくれていること本当に感謝しています。

指導員の先生、保育士の先生、事務所の先生、炊事の先生、毎日私たち児童に対し、時に厳しく、時に面白く温かく接してくれてありがとうございます。進路の事、生活の事、何でも親身になって相談に乗ってくれます。先生方に喝をいれてもらい、「これからは頑張ろう」と思えます。これからも素直になれない事もたくさんあると思いますが、いつも心では「ありがとうございます」という気持ちは持っています。



園長先生がお礼に？

露店慰問

7月22日に、B級グルメの会のサップさん、酒井さん等沢山の方々が露店慰問に来てくださりました。牛串、唐揚げ、富士宮焼きそば、焼肉丼、ロングポテト、ドーナツ、かき氷、当て物、射的、スーパードールすくい等沢山の屋台が用意されました。



お仕事体験中。
お金をもらって大変でしょう？

みんなのアイドル

ぶっとうん君

難波別院映画慰問

7月24日に真宗大谷派難波別院映画慰問が学園のホールで行われました。年長、低学年、附属保育園の園児が参加しました。アニメーションフィルムの映画を3本観ました。観た事の無い作品ばかりで「面白い。映画を見る機械がすごい」等とても喜んでいました。映画の間には、ぶっとうん君が登場。児童は「ぶっとうん」と

皆で町を綺麗に

町内清掃

6月4日に、小学生とクラブ所属の中学生が町内清掃に参加しました。始まる前から児童は、「綺麗にするぞ」とやる気満々。始まる時も遊んでいる公園内のいたる所へ広がりました。黙々と雑草を抜く児童、他児とどちらが多きゴミを集められるか競い合いながら拾う児童、また下級生の草抜きをサポートをする上級生と様々な様子が見られました。

終わってみると、満杯のゴミ袋が2袋で「こんなにゴミあったんや」と児童も驚きを隠せない様子でした。中学生も部活動ごとに担当場所を変え、清掃しました。地域の方々と協力し住んでいる町を綺麗にした事で、町も心も綺麗になりました。

お腹いっぱい
カレーライス

町会行事

6月25日に、町会で開催された

陽だまりクッキングカレーフェスタに小学生が参加しました。地域の方々と一緒に児童達は人参の型抜きに挑戦しました。うさぎや星ハート等、様々な形で型抜きをしました。綺麗に型抜きが出来ると「見て見て。めっちゃきれいで来た」と笑顔で見せて回りました。カレーを煮込んでいる間に職員によるレクリエーション。イントロ

地元の祭り

昭和町夏祭り

7月29日、国分中学校にて昭和町夏祭りが開催されました。本園からも小学生から高校生までの希望する児童が沢山出かけました。かき氷、フランクフルト、からあげ、ポテト、焼きそば、カレーライス等沢山の出店があり、思い



いつも遊ぶ公園だから
感謝の気持ちもこめて



ねらいをさだめて
振り下ろせ！えい！

本園は地元で愛され、育てられ、地域に開けた施設を今後も目指して行きます。

引き続き地域の皆様との交流を大切にして参ります。

子育てのことでお困りの方、お悩みの方は、どうぞご相談下さい。



お祭りのフランクフルトの味は
最高に美味しいよね

思いにお店に並んでいました。そして、当て物や輪投げ、ストラックアウト等も楽しんでいました。「先生見て。舌が青い」「焼きそばとカレー食べてお腹いっぱい」「あてものでいっぱいのおもちや当てた」と大満足。中高生は学校の友達と約束をして一緒に回り、それぞれが楽しい時間を過ごしました。

目にするものがない
景色

メイクスマイルプロジェクト
6月18日に、日本生活文化推進協議会様の招待で、メイクスマイルプロジェクトに13名の児童が参加しました。ベストファーマー賞を受賞された山根大助さん、絹谷幸二さんから貴重な体験をさせて頂きました。まずは、空中散策。高いビルをカラス張りのエレベーターやエスカレーターでドンドン上って行きます。児童は「どこまで行くんやろ」「雲の上まで行きたいな」と話していました。その後は、山根さんが用意して下さったイタリアン料理を皆で食べました。普段食べる事のない本格的なチーズやハムに「おいしい」「まだ食べたいくてお腹いっぱい」と大満足でした。

野菜や動物に感謝

農芸高校訪問

7月20日に、農芸高校様の招待で、農芸高校へ小学生26名で行きました。農芸高校に行くのは今回が初めてです。正門をくぐった時からワクワクが止まりませんでした。まずレクリエーションで、農芸高校の生徒の皆さんと交流を深めました。児童は、すぐに生徒の皆さんと打ち解け、仲良く話していました。雨で出来なかった野菜の収穫の代わりに野菜クイズをしました。児童は予想外の答えに大

昼からは、里山散策。大阪市内の都会の中でも虫や鳥が集まる場所として、木や畑がありました。児童は興味津々で「ほんまや」「知らなかった」と里山の話に聞き入り、知識を深めました。その後は、絹谷さんの作品が展示されている天空美術館の見学です。初めての3D眼鏡に児童達は不思議そうな表情。作品の絵が飛び出し、物語として映し出されると「うわぁ。龍に食べられる」と大興奮でした。絹谷さんの「子どもの時から絵を描く事が好きだった」「だからずっと続けてきた」と言う言葉に「続けたらできるかな」「自分の好きな事って何かなあ」と考えていました。メイクスマイルプロジェクトの皆様が一日中、児童と行動を共にして下さい、児童達にとってかけがえのない一日となりました。

挑戦するって楽しい

小さな灯クッキング

8月4日、Daigasグループ小さな灯運営事務局様の招待で、小さな灯クッキングに小学生5名の児童が参加しました。私達はハンバーグ定食を作ることになりました。まず買い出しです。児童は買い物リストを片手に「パン粉どこや」「お肉はこっちの方が安いで」



いい景色とパシャリ



どうぶつさんこわくないよ♪

好きになり、ありがたみを感じました。そして、農芸高校の方から頂いた野菜は翌日、夏野菜カレーとしてふるまわれ、普段野菜が苦手な児童も「美味しい」とモリモリ食べていました。

初めての参拝

おちばがえり

8月4日に、天理教泉河真教会様からの招待で小学3年生の5名が天理市天理教本部に行きました。初めて見る大きな建物に「あれはなに?」「南河学園よりも大きい?」と色々な質問をしていました。教会本部に入り、参拝を行います。とても広く静かで心安らぐ空間で招待者の方の参拝を手本にし、真似をしながら一緒に参拝をしました。長く続く廊下では、列になり雑巾がけの体験もしました。「めっちゃ長かったけど楽しかった」「毎日掃除するの大変やな」と感想が聞けました。外にはトランポリンや水鉄砲があり、「次はあそこに行きたい」「水鉄砲楽しかったけど全身にシヨビシヨになった」と児童の顔はとてもニコニコして



初めてのボルダリング

「ハンバーグの中にチーズ入れようや」と楽しそうに買い物をしていました。次にハンバーグ作りです。6年生が玉ねぎをみじん切りにし、4年生がハンバーグのタネを作りました。6年生は「目が染みる」と言いながらも丁寧に包丁を扱い、4年生は「卵も潰していいの?」と驚き新鮮な気持ちで挑戦しました。「ハンバーグは好きな形にしようや」とハートやネコ、ゲームに登場するイカの形を作り、焼きました。出来上がりを食べる時「おいしい」「おかわりしたい?」と大好評でした。

食後にりそな銀行様の提供で「人生やりくりゲーム」をしました。人生やりくりゲームとは、すごろくを用いて、投資運用の疑似体験をするゲームです。最初は「お金減るかもしれないから怖い。預金しよう」と慎重でした。しかし、給料やボーナスでどんどんお金が貯まると「投資信託しよう。120万くらい」と挑戦的になりました。最後に退職金が入ると「やった。これで家のローン返せる」と、現実的な言葉に職員は、くすりと笑ってしまいました。

遊びの後はステージショーで

ゲームやコント、歌やダンス等を見ました。最初は座って観ていた児童も、気付けば立ち上がり観ていました。ダンスを皆で踊る場面では、誰よりも早く舞台上がり、元氣よく踊りました。楽しい時間はすぐに過ぎ、帰る時間になりました。「まだまだ遊びたい」「皆で泊まっていこ」と帰るのを惜しむ声が多く聞かれました。夏休みの良い思い出がまた一つ増えました。

夏のなごり

ぶどう狩り招待

9月9日、民生児童委員協議会様からの招待で小学生23名がぶどう狩りに参加しました。到着し挨拶を終えると、ぶどうの採り方や種類について教えてもらいました。今回食べたぶどうは酸味と甘みが程よく調和したベリーAという品種でした。みずみずしいぶどうが沢山実っている中で欲しいぶどうを自分で選びパクリと食べると、ぶどうの甘さが口の中に広がり「甘い。おいしい」と児童も笑顔になりました。全く同じ味のぶどうは無いと説明され皆で交換をしながら「これちょっとすっぱい」「これ甘い」等沢山のぶどうを味わいました。

昼食はハンバーガーを頂き、お腹いっぱいになった頃にレクリエーションが始まりました。最初はマジックを見せてもらいました。コップに入れたはずの水が無くなった、逆さまにしてもこぼれない水を見たりして「なんで?」と声を上げていました。その後、低学年はフラフープ送りで競争し、高学年は紙コップと紙皿10枚を誰が一番早く積み上げられるのかを競争しました。最後には各ブースに遊び場が出来て点数を書き込みながら「見て。こんなに点数取れたで」「わなげめっちゃ楽しくていっぱい行った」と楽しみました。お土産にぶどうも頂き、食べるのを楽しみに持ち帰り後日美味しく頂きました。



美味しいぶどう見つけた♪

キラキラベルトに憧れの眼差し

プロレス招待

5月21日に、大阪プロレスのゼウスさんからTTホールにて行われた“大阪プロレス大阪城下祭”の試合に招待して頂き、児童10名が観戦させていただきました。

ダンスのパフォーマンスから始まり選手が入場すると一気に会場が盛り上がり、児童は椅子から腰を浮かせて前のめりになりました。試合は7試合あり、6人タッグマッチや3ウェイマッチ等様々な試合がありました。7試合目の大阪プロレス選手権試合ではゼウスさんが出場し、一度ダウンまで追い込まれましたが、歯を食いしばって立ち上がる姿を見て児童は目を見合わせて喜んでいました。結果、ゼウスさんが勝ち、ベルトを掲げる姿を見て「やっぱ強い。カッコいいわ」と目を輝かせ、興奮していました。



帰園後も「食いしん坊太郎仮面が面白かった」「スパイダーめっちゃ強かった」「プロレス観戦初めてやったけど面白かった」と沢山感想を話していました。

ほのぼののコラム

野菜作り

数年前より学園の畑で、夏はトマト、冬は大根等の野菜を児童と力を合わせて育てています。今年は、種からコトコトと育てて達成感を味わえるように、また苦手な野菜が克服出来たらいいなという思いで低学年児童を対象に募集をしたところ、十名の児童が「やりたい」と手を挙げました。まず初日に、沢山生えた畑の雑草を引き抜く作業に取り掛かりました。尻もちをつきながらも畑がどんどん綺麗になりました。今年の夏はサツマイモとオクラを植える事になり、重たいジョウロを持って水やりをしました。収穫出来る日が楽しみです。

声よ届け

①面からつづく

貝塚青少年運動広場で熱戦が繰り広げられる中、館内に残った児童達は、球場から伝えられる速報を心待ちにしていました。「試合の途中経過をお知らせします」と館内放送が流れると遊んでいた手を止めてに耳を傾けました。そして「南河学園がリードしています」



壁一面に貼られた応援メッセージ

の内容に館内のあちらこちらから歓声が上がりました。「南河頑張れ。南河頑張れ」とまるで球場で応援しているかのような声援が響き渡ります。やがて館内の壁には沢山の応援メッセージが貼られ始め、ここから選手を後押しする気持ちでいっぱいになりました。

セ・パ両リーグの試合を観戦 ホームランに児童は大興奮

8月29日に、株式会社読売巨人軍ファシリティの招待で巨人VS広島島の試合を観に、京セラドームへ行ってきました。ドームに着いてすぐ招待者の方からクローブとお弁当を頂きました。

アナウンスと共に選手が入場するや否や選手の名前を呼び大興奮。自分と同じ苗字の選手を「この選手一番応援する」と推しの選手を決め、ヒットやファインプレーに「めっちゃカッコいい」と声を漏らしていました。6回に長野選手が5号ソロホームランを打ち、球場内が巨人ファンの歓声でいっぱいになりました。児童も立ち上がって「よっしゃ」「さっきのすごすぎた」と喜びを爆発させていました。帰りの電車内では「坂本選手かっこよかった」「また行きたいな」と余韻に浸っていました。

また9月24日にはオリックスバファローズVS西武ライオンズの観戦に招待して頂き京セラドーム大阪へ行ってきました。観客席に座ると選手を見つめる児童の目はとても輝いていました。試合の中盤に差し掛かると児童は周りの観客を真似て一緒に応援していました。ホームランを間近で見ることが出来、児童は「楽しかった」「最高の試合やった」と話していました。



七夕でしょ

七夕の集い

七夕に向け、笹の飾り付けをしました。児童は「ほら、キラキラに出来た」と川の飾りや「夏といえはなかな」とスイカの飾りなどを色々な飾りを作りました。

いざ、笹を付ける時には「これ私の短冊」「こんなお願い事して」と友達のお願いをのぞき見していました。

出題され、児童は興味津々でクイズに参加しました。「当たった」「外れた」と一喜一憂し、真剣な表情で説明を聞いていました。

「みんなのお願い事が叶いますように」と寄せられ、職員一同、皆が幸せな日々を笑顔で過ごせるよう祈っています。

そして7日には七夕の集いを行いました。副園長より七夕にまつわる話を聞き、その後七夕クイズをしました。織姫と彦星に関する事から、七夕の歌のクイズまで

短冊紹介では「韓国のアイドルに会えますように」「テストで満点を取りたい」と言った願いや「夏休みの宿題がありませんように」と切実な願いも。職員からは

お題「夏」と言えば…何？

皆さんは「夏」と言えば何ですか？

さあ 学園の夏休み特集です

花火でしょ

残園児花火

8月11日、保育園裏のグラウンドにて小学生から高校生までの児童が花火をしました。勢いよく出る花火や線香花火等、色々な種類の花火をして過ごしました。「綺麗やなあ」と声を上げる児童や、火を着けるのに苦戦する児童もいました。



きれいな花火

かき氷でしょ

おやつかき氷

最後に線香花火に点火して、誰が最後まで落とさずにいられるか勝負をする児童がいました。すぐに落ちてしまった児童は「めっちゃ悔しいからもう一回したい」と話していました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、児童にとって楽しい夏の思い出になりました。



夏休み中、おやつにかき氷を出しました。いちごやメロン、レモン等の定番の味他にも、ソルティライチや紅茶といった新しい味もありました。食堂前にかき氷の種類の貼り出すと「なににしようかな」「食べたことない味ある」と楽しみな気持ちで隠し切れない様子でした。おやつ時間にすると希望の味を職員に伝えシロツ

8月後半には去年好評だったドラキュラ味と新しく日向夏の味を追加で頂いたので、9月にもかき氷を行いました。「ドラキュラあるやん」と小学生たちは大興奮、迷う事なくドラキュラ味を選び口の周りを真っ黒にさせながら食べていました。毎回ぶれずに紅茶味を食べ続けた児童や、新しい味に次々と挑戦する児童、「かき氷といえはいちご」と定番の物を好む児童等それぞれの楽しみ方で夏を味わいました。



キャンプでしょ

日帰りキャンプ

7月27日、児童職員総勢89名で琵琶湖 白汀苑へ日帰りキャンプに行きました。学園全体で行くキャンプは実に4年ぶりです。バス2台に乗り込み出発。「キャンプだホイ」を歌い、職員によるバスレクを楽しみながら向かいました。

白汀苑に着いて、まずはバーベキュー。天気にも恵まれ雲一つない晴天の中、美味しい肉と野菜を、中高生の児童が率先して焼いてくれました。「小さい子に食べさせたい」「先生、焼けたで、食べや」と、気遣いからの成長を感じました。お腹いっぱいになってくると、「もう着替えて琵琶湖入っ



BBQ美味しく焼けた

たらあかんの？」と早くも泳ぐモード。

そして楽しみにしていた琵琶湖遊泳を始めました。皆大喜びで水を掛け合ったり、浮き輪を付けて泳いだり、水鉄砲で水を飛ばしたりして好きなように思い切り遊びました。幼児・小学生らは職員に付いてもらい、ぶかぶか泳いで満面の笑顔。中学生は「先生見て、クロール」「足ついてなくても泳いで」と深い所まで行って見せていました。そして時間もあっという間に過ぎ、帰る時間が迫ってくる。「もう終わり？」「やっぱり泊まりたいな」と言いながら着替えを済ませ、白汀苑にお別れをしました。帰りのバスでは、すやすや眠る姿もありましたが休憩に立ち寄ったパーキングエリアで園長にアイスを買ってもらい、また元気が戻りました。「帰りはバスレクやらの？」「キャンプだホイ歌おう」と言うほど、全員怪我や熱中症も無く無事に帰宅しました。来年のキャンプも楽しみです。



久しぶりの琵琶湖

お出掛けでしょ

グループ外出
8月12、13日の2日間に分けて、職員と在園児童でグループ外出に行きました。

アリオ八尾や天王寺、南京町等それぞれの場所で楽しい時間を過ごし、観たい映画や食べたい物、買いたいゲームや漫画等、児童の希望に沿ったプランで行動しました。児童達は終始ウキウキしていました。引率した職員も児童の楽しそうな姿を側で見られて思わず

笑顔がこぼれます。

帰りの電車内では眠ってしまう児童もいました。何が楽しかったのか尋ねると「映画のあのシーンが」「今日食べた〇〇が美味しかった」等具体的に沢山教えてくれました。ひと夏の思い出として記憶に刻めたことでしょう。



どうですか?
皆さんの「夏」がありましたか?

プールでしょ

サンヒルプール
8月22日に児童40名、職員12名で午前と午後に分かれてサンヒルプールに行きました。久しぶりのプールに児童も楽しみにしており、ラジオ体操を済ませると、遊泳開始の合図とともに一斉にプールへ向かいます。浮き輪をつけ、のんびり浮かぶ児童、職員と泳ぎ対決をする児童、滑り台、ウォータースライダーを周回する児童と様々な楽しみ方をしていました。特に、ウォータースライダーに初挑戦する低学年児童は「怖い。俺これやめたい」と言いながらも、滑り終わると「楽しかった。もう一回」



プカプカ泳いだ

夏祭りでしょ

学園夏祭り

8月27日、4年ぶりに地域の方も参加頂ける法人夏祭りを開催しました。毎年実施していた行事でも4年も間が空くと「コレどうやってたかな」と細かい準備については職員間で思い出しながら準備を進めました。

当日はボランティア団体の方や学生ボランティア、元職員も手伝いに来て下さり従来通り夜店を出店する事が出来て、とても賑やかで活気のある祭りになりました。

琵琶湖の自然でしょ

目で見える自然教室

8月7日、8日に一泊二日で希望のひかり基金様協賛のもと滋賀県琵琶湖で行われた第50回、目で見える自然教室に本園の6年生6名が参加しました。大阪府の様々な児童養護施設の6年生が集まり班を作りました。

現地に到着し、班になり琵琶湖に関するクイズや大縄跳び、水遊びのレクリエーションを行いました。クイズでは、班メンバーと意見を出し合い初対面同士少しずつ打ち解ける事が出来ました。大縄跳びでは、児童同士で「あとちょっと頑張ろう」「もう一回」と声を掛け合い、協力しながら行う事が出来ました。水遊びでは、少し波

「フランクフルトにマスタードめっちゃかけたけど全然辛くなかった」「かき氷はマンゴー味が美味しいで」「わたあめフワフワ」「当て物で欲しかったやつ当たってん」と屋台を楽しむ児童が教えてくれました。児童会の高校生は、ソースせんべいの屋台を出し、当番制で「いらっしやい」「美味しいよ」とお客さん呼び、一生懸命作ってくれました。

美味しいものを沢山食べお腹も落ち着いてきたころ、保育園の園庭に設置された櫓から河内音頭が聞こえてきて、地域の方や壮年会の方と一緒に見よう見まねで河内

は高いもののプカプカ浮かび、波に流れ、楽しむ声があちこちで聞こえました。夕食はバーベキューでした。火を起こす所から始め、飯盒炊飯に挑戦しました。良い水加減でモチモチのお米が炊け、自分達で一から行ったバーベキューはとても美味しかったです。夜のキャンプファイヤーでは、目で見える自然教室物の「スマイルンジャー」が登場し一緒にレクリエーションをしました。



河内会メンバー全員集合!

音頭を踊る児童の姿もありました。沢山の方の協力を頂き開催出来、児童達が楽しく過ごしている姿を見て、改めて周りの方々への感謝の思いでいっぱいになりました。



最後に希望のひかり基金様からサプライズで花火が打ち上がりました。児童の為に上げられた花火は夜空に綺麗に咲きました。

2日目は、フォトフレーム作りとカヤックを体験しました。好きな絵を描いたり、貝殻を貼ったり、班のメンバーの名前を書き残したりする児童もいました。カヤックでは、説明を聞き「難しそう」と言いながら挑戦しました。息を合わせ「右、左、右、左」と息を合わせ最後まで頑張りました。帰りのバスでは、他施設の児童が下車する際名前を呼び合い、「また会えたらいいね」と別れを寂しく思う姿もありました。普段出来ない体験、他施設児童との交流はとても良い思い出になりました。

今年の夏は異常な暑さでしたが、それ以上に学園の児童が熱くなつたスポーツ大会。軟式野球・ソフトボール・フットサルとそれぞれチームを編成して、練習に打ち込んできました。児童は、勝ったり負けたったりする中で、技術面だけでなく精神面も大きく成長してくれました。指導を担当した職員の熱い気持ちも一緒に感じてもらえたら幸いです。

溢れる涙

フットサル大阪予選大会
7月17日、ノアフットサルスデー
ジ久宝寺でフットサル大阪予選大会が行われました。

今年は3年生も入部出来るようになり、全員で19名の児童のフットサルチームを作りました。

今年の目標は近畿大会に出る事、一緒に頑張ろうと話をしていました。また、仲間を思いやる気持ち、チームワークの大切さ、挨拶、感謝の気持ちを持つ事を学んで欲しいとも伝えました。

練習では、今まで以上にパス、シュート、ディフェンス等、様々な練習に取り組み事が出来ました。「試合に勝ちたい」という気持ちで前面に現れるようになり、児童



勝利を目指して

一人一人がチームメイトに声を掛けたり励まし教え合う等の行動が出来たようにもなりました。

そして大会当日。1試合目は救世軍希望館との試合。後半に児童が立て続けにシュート決め2対0で勝つ事が出来ました。その調子で2試合目は岸和田学園に5対0で勝利。決勝リーグに進む事が出来ました。

あと1勝すれば目標の近畿大会相手は希望の杜。試合前、児童に「勝って近畿大会にいこう。」と伝え試合に挑みました。前半攻められる事が多く、シュートを沢山打たれましたが、キーパーが必死に守り全て止めなんとか食らいつきました。その後、児童から児童へのパスでシュートし先取点。しかし相手にも1点決められ同点で後半戦。相手に攻められるも、必死に食らいつき1対1のまま後半が終了。PK戦になり、結果負けてしまいました。負けた瞬間メンバー全員が「めっちゃ悔しい。勝ちたかった」と悔し涙を流しました。その後、3位決定戦に挑むも負けてしまい結果は4位でした。近畿大会には出られなかったけれど、児童にとっては最高の経験が出来たと思います。

監督談

悔しさを胸に

エスペランサカップ
そして9月16日に、J・GRE EN堺にてエスペランサカップが行われました。大阪大会の悔しさを胸に挑むこととなりました。

1試合目に松柏学園と対戦、思ったプレーが出来ず引き分け。2試合目は東光学園と対戦し勝利。3試合目は高津学園と対戦し、0対0で前半終了。後半にシュートを決めそれが決勝点となり見事勝利し、予選リーグを1位通過で決勝リーグに進出しました。

決勝リーグ1回戦は弘済みらい・のぞみ園と対戦しPK戦に。大阪大会ではPK戦で負け悔し涙を流していた児童でしたが、今回は勝ちたいという思いが表情に現れていました。見事2対1でPK戦を勝ちました。



全員で勝ちにいった

準決勝では東光学園と対戦。前半0対0のまま後半試合終了間際にゴールを決められ0対1で負けてしまいました。負けた瞬間全員が悔し涙を流していました。

大阪大会では3位決定戦で切り替えて来ましたが、今回は3位決定戦の前に「4位、3位では全く違う。切り替えて、勝って笑顔で学園に帰ろう。」と何度も伝え、武田塾との試合に挑みました。

前半すぐに相手にゴールを決められ攻められていましたが、前半の終了直前に児童がゴールを決め、同点で前半終了となりました。ここで点を決めた3年生の児童は予選リーグから3位決定戦まで全ての試合に出場し、大活躍してくれました。後半、相手にゴールを決められ2対1に。ダメかと思つた時に、ずっとここぞという時に決めてくれていた6年生の児童がここのゴールを決め同点に追いつきました。そして後半終了間際にさらに他の児童がシュートを決め3対2で見事勝ちました。最後に決めてくれるのがさすが6年生でした。最後は皆笑顔で学園に帰ることが出来ました。大阪大会では悔し涙でしたが、エスペランサカップでは勝利を分かち合い、監督としてまた一つ児童の成長を実感することが出来ました。監督談



全力投球

河内会ソフトボール大会
8月26日に、羽曳野市立石川スポーツ公園で河内会交歓ソフトボール大会が行われました。開会式では、本園のキャプテンからの優勝盾の返還と大きな声での選手宣誓で大会の幕が上がりました。

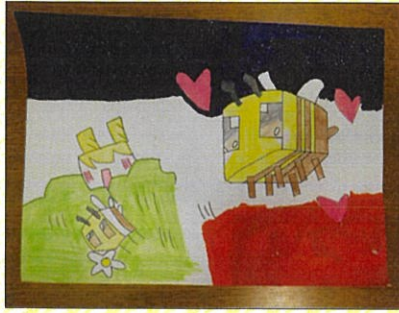
1回戦目は高鷲学園と試合を行いました。試合が始まると「絶対勝つぞ」と力強い掛け声でチームが一つになりました。初回から南河学園の打線が止まらず次々と点が入り、高得点を取りそのまの勢いで快勝となりました。連戦で2回戦目は羽曳野荘と試合を行いました。初回から点を取りに行きましたが、攻守交代となるとすぐに点を入られてしまいました。しかし、チームの誰一人として諦める選手はおらず誰かがミスをしたとしても「ドンマイ大丈夫」「気にせず次にいきましょう」と励ましの声であふれていました。結果2回戦目は、残念ながら負けました。

最後は、若江学院との3位決定戦に挑みました。チーム全員が全力で試合に挑み見事勝利し、3位入賞となりました。優勝は逃しましたが、最後まで諦めず支え合いながらプレーする児童の姿は誇らしく感じました。監督談



暑い中頑張った

小学校高学年の部



銀賞

「みつばちとうさぎ」

金賞

「The planet」



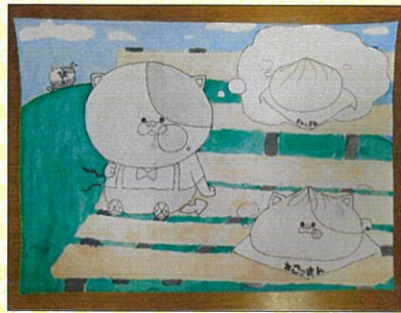
金賞

「きれいな空」



銀賞

「ふたごのきょうだい」



激励賞

「肉まんそっくりコジャックくん！」



銅賞

「スライム&おとも」

絵画



激励賞

「青空の下で笑顔で歌うウタ♪」

コンクール 受賞作品



金賞

「コナン『いっけー』」



激励賞

「コロク ちょっと臭っ」

銅賞

「闇夜と月夜」



銀賞

「じゅーじまっ」



小学校低学年の部

中学生の部

高校生の部

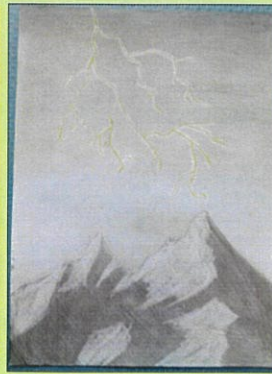
金賞

「自立心」



銅銀

「迅雷と険峻」



激励賞

「初号機」

編集後記

季節が急に進みました。朝夕が寒くて秋を感じる今日この頃です。さて、育み新聞令和5年度2号をお届けします。行事が元に戻り盛りだくさんの内容になってしまいました。読み応えのある新聞に仕上がったと自負しております。鐘や太鼓のリズムでにぎやかだった地元の秋祭りも無事に終わりの地域は静けさを取り戻しました。



今年も残すところ2カ月となりました。次号は年度末に発行の予定です。お楽しみに

ご慰問・ご寄贈 ありがとうございます。

R5. 5. 1～R5. 9. 30

敬称略・順不同

日高安子・大阪府立農芸高等学校・田中希夜・タキロンシーアイシビル株式会社摂津農園
 有限会社RIATEC代表取締役生川慶彦・国分本町7丁目1区町会・門司一徹・天野映
 A-Style井出茜・国際ソロプチミスト大阪・柏原・株式会社万代・株式会社ソルフェール
 笠井和憲・(株)中田木工所中田悟志・神尾 陵太、千明・藤井芳明・薮 繁美・大本直子
 谷口歯科院長 谷口健詩・安田正・小西智子・近藤知美・福富美羽・高坂修輔・須郷紳弘
 大阪ガスネットワーク株式会社Daigasグループ”小さな灯”運動事務局・服部雅
 直長昌教・中田恵美・早川健吾・真宗大谷派難波別院・小川雅美・林恵・大本杏怜・柘植茂
 B級グルメの会、金城旭、秋山隆之、酒井誠・古鷹龍也・辻岡正徳・太田石伊・大木恭司
 協同食品株式会社・柏原地区BBS会安藤和範・柏陽会・龍元和久・田所眞紀・藤原友梨
 読売新聞西田・認定法人ふーどばんくOSAKA・一般社団法人日本生活文化推進協議会
 (株)大阪丸市・柏原ライオンズクラブ・横山三貴子・株式会社オクノナマコン・藤原綾子
 柏原地区更生保護女性会・大阪プロレス株式会社・株式会社チュチュアンナ・植村眞一、弘美
 阪神設備代表山城元治・岡本健司・吉原俊夫・会津志緒梨・山本地所株式会社・河野里奈
 (株)光陽社自習ノート事務局・一般社団法人全国食支援活動協会・酒井誠士、沙織
 山崎パン株式会社大阪第二工場総務課・柏原市民生児童委員協議会・株式会社チェスイン物流
 東洋出版株式会社・木多久恵・黒木海沙・大阪いずみ市民生活協同組合地域活動グループ